

芦屋市下水道中期ビジョン (H23~H32) ダイジェスト版

「下水道中期ビジョン」策定理由

国土交通省
平成 17 年度 「下水道ビジョン 2100」策定
平成 19 年度 『下水道中期ビジョン～「循環のみち」の実現に向けた 10 年間の取り組み～』策定

これをうけ、地方公共団体についても市民との協働のもと、10年間の整備目標及び具体的施策を示す「下水道中期ビジョン」の策定が要望されています。

第 4 次芦屋市総合計画 (H23~H32)

将来都市像

「自然とみどりの中で^{きすな}絆を育み

“新しい暮らし文化”を創造・発信するまち」

■まちづくりの基本方針

- 1 人と人がつながって新しい世代につなげる
- 2 人々のつながりを安全と安心につなげる
- 3 人々のまちを大切に作る心や暮らし方を
まちなみにつなげる
- 4 人々と行政のつながりをまちづくりにつなげる

関連する各種の計画

- ・芦屋市地域防災計画
- ・芦屋市水防計画
- ・第 2 次芦屋市環境計画
- ・都市計画マスタープラン など

関連する下水道計画

- ・大阪湾流域別下水道整備総合計画(以下、大阪湾流総計画)
- ・合流式下水道緊急改善計画
- ・公共下水道全体計画 など

基本理念

安心して暮らせる芦屋を目指して

安全なまちづくりの下水道

美しい環境づくりの下水道

健全な経営づくりの下水道

【施策の目標】

浸水被害の軽減・・・22 ページ

市内全域において、10年に1度の大雨に対応できる雨水整備を行い、浸水に対して安全・安心な都市を目指します。

地震対策の推進・・・25 ページ

地震による下水道施設への被害の軽減を図るため、施設の耐震対策などを実施し、下水道機能維持の確保に努めます。

下水道施設の維持管理・・・26 ページ

施設の状況を的確に把握したうえで、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新や維持・修繕を実施し、老朽化する下水道施設の適正かつ効率的な管理に努めます。

公共用水域の水質環境改善・・・27 ページ

大阪湾の水質環境改善、健全な水循環の形成に向けて、大阪湾流域別下水道整備総合計画で定められた計画処理水質を厳守できるよう、既存処理施設を有効に活用した高度処理計画を策定します。

合流式下水道の改善・・・28 ページ

分流式下水道と同程度の放流水質を確保し、雨水吐き室からの雨水により希釈された未処理下水の放流回数の削減、ごみの流出を防ぐための対策を推進します。

下水道資源・施設の有効利用・・・29 ページ

下水道資源及び施設の有効利用を積極的に推進します。

経営基盤の強化・・・29 ページ

下水道の適正な機能を持続するため、中長期的な視点からの経営基盤の強化や管理の適正化のための取り組みを推進します。

【具体的な対策】

- ・基本条件の適正な見直し
- ・雨水流出抑制施設の整備、促進
- ・浸透施設の効果の検証と雨水貯留施設の段階的な整備
- ・浸水情報の収集及び提供

- ・重要度の高い施設の耐震診断の実施
- ・重要な幹線の耐震化
- ・災害復旧時の対応体制の整備

- ・下水道施設の電子データ化
- ・不明水対策の実施
- ・改築計画の策定
(長寿命化計画)

- ・既存施設の有効利用、経済性を踏まえた、高度処理方式の計画策定

- ・宅内浸透施設の設置指導、促進
- ・芦屋下水処理場の沈砂池堆積防止、除去システムの運用
- ・合流区域の一部分流化

- ・処理水の活用(せせらぎ、雑用水)
- ・健全な水循環(雨水浸透施設の導入)
- ・処理施設の有効利用
(ヒートポンプ冷暖房、太陽光発電ほか)

- ・適正な使用料への改定の検討
(処理費用負担の明確化)
- ・維持管理費の低減(不明水対策)
- ・企業会計の導入検討(資産評価)